

試験データ

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）を用いた試験を行いました

※本データは下記試験方法（ISO21702）に準拠した試験であり、実際の使用での効果を示すものではありません。※本試験データは商品の性能を示すものではありません。

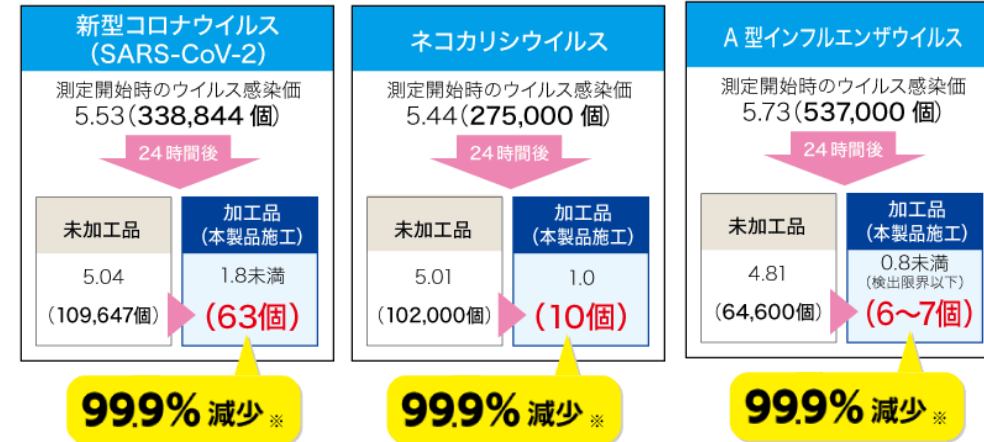
■試験概要

- ① 試験期間：一般財団法人 日本繊維製品品質技術センター
- ② 試験方法：ISO21702 「Measurement of antiviral activity on plastics and other non-porous surfaces」
- ③ 試験ウイルス：Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2)

新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）、A型インフルエンザウイルスとネコカリシウイルス（ノロウイルスに近い性質を持つ）の3種類のウイルスを使用して、何もしない「未加工品」と本製品を施工した「加工品」を比較して24時間後のウイルス感染価（感染能力をもつウイルスの量）を測定したものです。

検体		新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)		A型インフルエンザウイルス		ネコカリシウイルス	
		ウイルス感染価 (常用対数平均値)	抗ウイルス活性値	ウイルス感染価 (常用対数平均値)	抗ウイルス活性値	ウイルス感染価 (常用対数平均値)	抗ウイルス活性値
抗ウイルス/抗菌剤 未加工品	接触直後	5.53	—	5.73	—	5.44	—
	24時間後	5.04	—	4.81	—	5.01	—
抗ウイルス/抗菌剤 加工品	24時間後	<1.80	≥3.2	<0.80	≥4.0	1.00	4.0

試験結果は常用対数で示されるため、括弧内の数値が1㎡あたりで検出されたウイルス量の実数となります。
(例：感染価5.73→実際のウイルス量は537,000個/㎡)



抗ウイルス成分を含んだコーティング膜にウイルスが接触することによって、特定のウイルス数を大幅に減少させる。

- 本製品は医薬品・医薬部外品ではありません。
- すべてのウイルスや菌に対して効果があるわけではありません。
- 抗ウイルス加工は、ウイルスの働きを抑制するものではありません。
- 病気の治療や予防を目的としたデータではありません。